

神戸ビエンナーレ 2015 出展作品決定!!(第4弾) 「ペインティングアートコンペティション」の一次審査結果

神戸ビエンナーレ 2015に向けたコンペティションの審査会を進めており、今回は「ペインティングアートコンペティション」の一次審査会が行われ、応募総数 74 作品から入選 10 作品を選考しました。

1. 一次審査会

審査日

平成 27 年 4 月 23 日(木)

場所

神戸市役所内会議室

審査員

中島 千波 日本画家、東京藝術大学名誉教授
池田 政治 東京工科大学デザイン学部長、東京藝術大学名誉教授
木津 文哉 洋画家・東京藝術大学美術学部教授
大森 正夫 京都嵯峨芸術大学大学院教授
吉田 泰巳 神戸ビエンナーレ 2015 総合プロデューサー

2. 入選作品

10 作品

※詳細は別添の一覧表の通り

3. 審査員講評

- ・前回よりも応募作品が増え、全体的に作品のレベルも上がっており、これまでにない大壁面絵画の完成が今から非常に楽しみである。
- ・今回は作品サイズの比率が横に長いため、絵をまとめるのに難しさがあったように思う。
- ・テーマを生かした作品提案が少なく、小作品を組み合わせる提案も多く見られた。また、規定サイズを生かしきれていない作品が多い印象を受けたが、より挑戦的で大壁面ならではのパワフルな作品の応募がもっとほしい。
- ・大きな作品を描くには、膨大な労力が必要であるが、制作にあたっては、4メートル×10メートルのサイズ感を存分に生かし、大胆で迫力ある絵画を描き上げてほしい。

4. 賞・賞金

- ・神戸ビエンナーレ大賞 …賞状、トロフィー、賞金 200万円
- ・準大賞 …賞状、賞金 50万円
- ・入賞 …賞状、賞金 20万円

※入賞作品の中から、二次審査(実物)で大賞・準大賞を決定。

5. 今後のスケジュール等

二次審査:9月14日(月)午後

入賞作品の中から、大賞・準大賞を決定。

展示期間:2015年9月19日(土)~11月23日(月・祝):66日間

展示場所:メリケンパーク(イベントテント内)

6. 応募状況

74 作品

7. 問合せ先

神戸ビエンナーレ組織委員会事務局

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市役所1号館 17 階

TEL:078-322-6598、FAX:078-322-6136、E-mail: kb_office@kobe-biennale.jp

○神戸ビエンナーレホームページ URL:<http://www.kobe-biennale.jp/>

神戸ビエンナーレ 2015 「ペインティングアートコンペティション」入賞者一覧

1. 作家名／臼木 英之 作品名／「追 遠」 居住地／神奈川県

作品コンセプト／

漆と油彩で展開する、和と洋の融合したマチエールと空間で遠い記憶を呼び起こすような心象風景的抽象作品。



2. 作家名／野田 晋央 作品名／「Jungle Tour つなぐ」 居住地／滋賀県

作品コンセプト／

夜明け前の薄明かりの中で植物や動物たちの生命感が臨場感たっぷりに躍動する様子や、複雑に配置されたモチーフが画面一杯に広がる様子に注目してほしい。写実的な表現だが非現実な雰囲気漂う作品にしたい。



3. 作家名／加茂 昂 作品名／「世界を新しく美しいとおもう。」 居住地／埼玉県

作品コンセプト／

世界はまだ美しいのか。世界をまだ美しいと思える「私」は存在するのか。世界を新しく美しいとおもうということは、希望そのものである。



4. 作家名／日月 美輪 品名／「永遠（とわ）」 居住地／京都府

作品コンセプト／

たった2枚の葉を1000年、2000年という長い生涯延ばし続ける植物「奇想天外」の強い生命力を日本画材で描いた作品。



5. 作家名／日比谷 泰一郎 作品名／「The Ark #2」 居住地／東京都

作品コンセプト／

何気ない日常をドローイングし作品化することによって、ここに存在していたという事実を証明するような、日常の抽出を試みている。繰り返される日常の価値、意義を再考するきっかけを生み出したい。



6. 作家名／立尾 美寿紀 作品名／「終わりなき物語」 居住地／千葉県

作品コンセプト／

細部は不完全で不可解な物の集まりだが、離れて見ると 2 羽の文鳥の求愛のポーズが見え、またそれは大きなハート型だと解る。文鳥の千代千代の鳴き声のように千年二千年ずっと平穏な毎日が続くように祈りを込めて。



7. 作家名／国吉 晶子 作品名／「dolly seans」 居住地／高知県

作品コンセプト／

港町として古くから栄えた神戸は、今も異国情緒あふれる街並が多く残っており、そんな街角にひょっこり現れた少女、あるいは窓辺に飾られた花や人形などを表現したい。巨大な画面に加え、愛らしく温かみのある色づかいで、訪れた観客に大きなインパクトを与えたい。



8. 作家名／菊谷 達史 作品名／「Reborn4.5」 居住地／石川県

作品コンセプト／

植物の有機的なフォルムをモチーフに生命の燃える姿を現前化させるものである。そこに私がみるのは人間の美しさであり醜さであり、シンプルさであり複雑さであり、生であり死である。こうした二元論を1枚のイメージに集約させ、和洋折衷画とでもいうべき世界、すなわち官能的なフォルム、書のようなストローク、滑りのある黒、脂っぽい色彩、これを現代絵画表現へと転化させる。



9. 作家名／佐藤 絃子 作品名／「迷いクジラは、今宵もすきを育む。」 居住地／大阪府
作品コンセプト／

時折、付近の海でも目撃される迷いクジラがメリケンパークにも出現！

『数寄』から生まれ、『好き』で出来たヒトの20年間を、クジラは背負っています。

このクジラはこれからも、すきと笑顔を育んでいくでしょう。



10. 作家名／村瀬 都思 作品名／「あいだのこと」 居住地／東京都
作品コンセプト／

「ある」と「ない」が移り変わるその瞬間を絵画の中で永遠にしてみたいと思いました。何かと何かあるいは人と人の「すき」間、そこに何か「ある」と感じる瞬間に何が起こるのか、考えるきっかけになれば幸いです。



以上、10 作品（応募受付順）

※作品イメージは応募時のものです。実際の展示とは異なる場合があります。